

所沢の歴史見聞録

5月14日(土)～6月29日(水)

最終日午後2時閉会

歴史にまつわる今昔よもやま話を資料と写真で紹介します。

- 所沢に象と虎の見世物が来た。(江戸時代)
- 街中の商店街は桜並木でお花見が出来た。(明治時代)
- 街中に子育て地蔵の大仏様があった。(江戸末～大正時代)
- 市内に二つの牧場があった。(大正時代)
- 二つの飛行場駅があった。(昭和時代)
- 小説の中の所沢、幻の大学誘致
- 所沢の地名の由来。他



プロペ通り入り口にあった子育て地蔵の大仏



明治時代の銀座商店街：桜並木で花見ができました。

所沢の地名の由来

野老（ところ）（ヤマイモ科の多年生つる植物）
所沢の地名の起源の一つとして、平安時代の初め「伊勢物語」の主人公と言われる在原業平（ありわら・なりひら）「東下り」の折り、この地を訪れ在原業平が野老（ところ）が多く生えているのを見て「この地は野老（ところ）の沢か？」と言った事に由来するとされています。



市章

所沢市の市章はヤマイモ科の「野老・ところ」の葉を圖案化しています。

所沢市中心市街地活性化拠点施設
野老澤町造商店

〒359-1121
所沢市元町21-18 10時～18時
電話/FAX 04-2928-1453（木定休）

駐車場は市営元町地下駐車場のご利用をお勧めします。
最初30分無料以降30分毎に60円です（2020 4/1～）

